

2021JR総連春闘勝利！ シリーズ①

会社の経営状況はどうなっているのか？ 経営協議会の開催を求めて 申し入れを提出！

会社のホームページによると、1月29日に第3四半期の決算を発表する予定である旨の記載がありました。

今回の一時帰休の実施において、JR東海ユニオンが発行している『ぎょうむそくほう』No.1376（1月15日発行）では、「雇用調整に繋がりにかねない重大な取り扱い」と赤字で強調しています。本当にそうなのでしょうか？

会社は、「リニア中央新幹線の建設は、健全な経営であること第一条件である」とJR東海労との交渉の場で回答しています。今現在も、リニア中央新幹線の建設は中断されておらず、1月20日の記者会見で金子社長はリニア工事について、「凍結の考えはない」と発言しています。この発言をとれば会社の経営状況は、現在、新型コロナウイルス感染症の影響や緊急事態宣言発令による一時的な減収ではあるものの、健全な経営状態であることを意味しているのではないのでしょうか？

これから、日本の各業界の労働組合は春闘に入り、労働者の生活改善をするために賃金の引き上げを会社に求めて交渉をしていきます。

しかし、JR東海ユニオンの『ぎょうむそくほう』No.1376を読むと、春闘を始める前から職場内に「雇用不安」を煽り、賃上げや夏季手当の減額を認めざるを得ない風潮をつくり上げる春闘妨害の何ものでもないと感じさせられます。

私たちJR東海労は、そのような事は断じて許せません！

私たちの生活改善、賃金引き上げを求めるために、会社に現在の経営状況を説明させ、春闘勝利を勝ち取るために、会社に経営協議会の開催を求めて申し入れを提出しました。